

# フィッシング対策協議会

月次報告書（2007年4月分）

フィッシング情報届出状況

2007年5月20日

## 目次

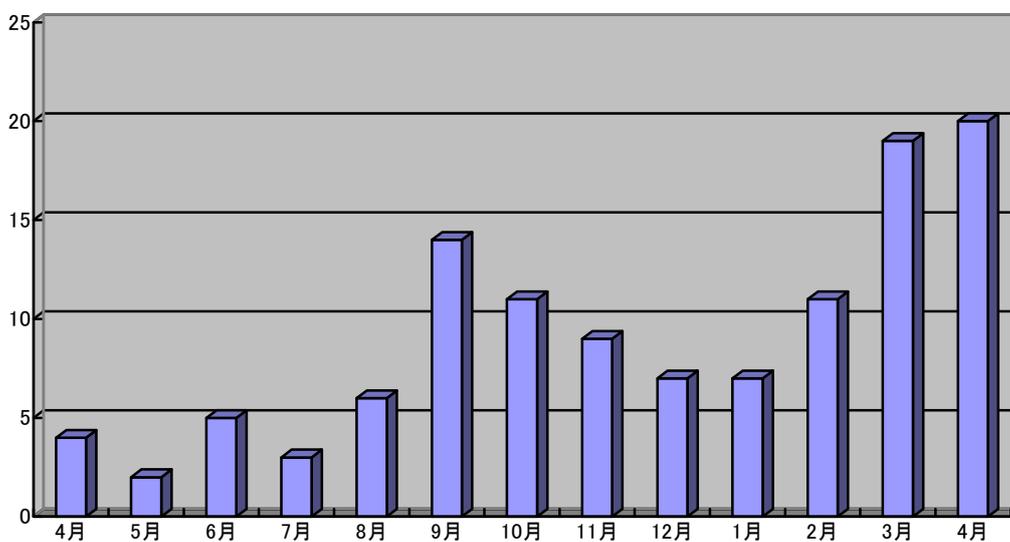
1.	フィッシング情報届出状況 .....	2
1.2.	業種別の状況 .....	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国 .....	6
1.4.	フィッシングメールの動向 .....	6
1.5.	フィッシングサイトの動向 .....	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報 .....	7
1.7.	その他の動向 .....	7
1.8.	総括 .....	8

# 1. フィッシング情報届出状況

## 1.1. フィッシング情報届出状況

- ・ フィッシング情報の届出件数： 20 件

2007年4月度に報告されたフィッシング情報は3ヵ月連続で増加し、過去2番目に多い件数となりました。

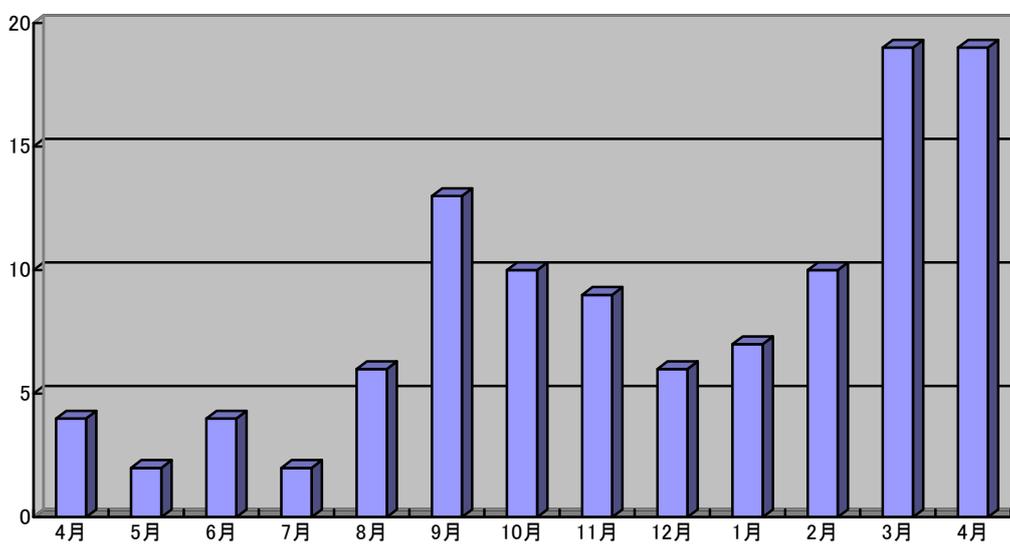


フィッシング情報の届出件数(2006年4月～2007年4月)

・

**フィッシングメールの件数：** 19 件

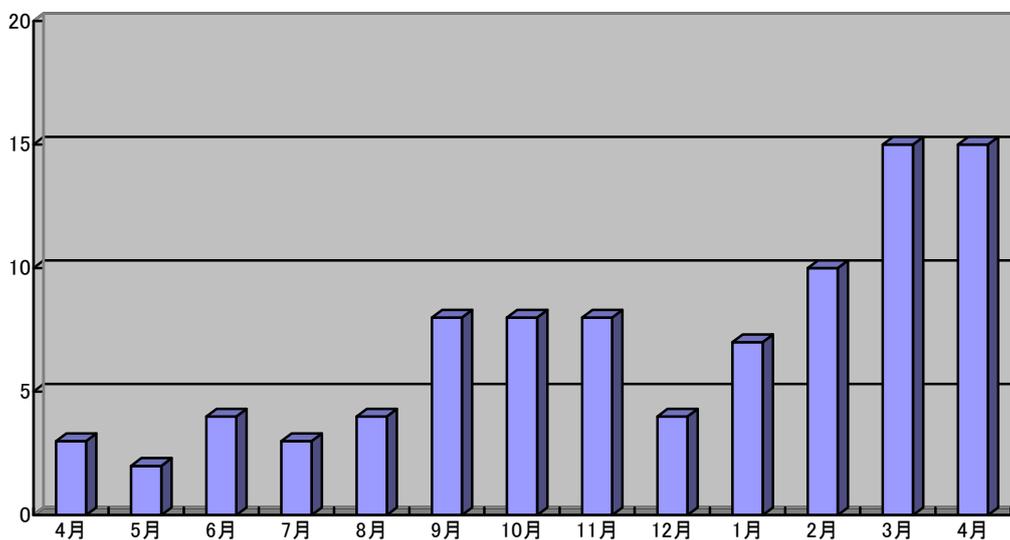
2007 年 4 月度に報告されたフィッシングメールは前月度と同じ 19 件で、過去 2 番目に多い件数となりました。



フィッシングメールの件数(2006年4月～2007年4月)

**フィッシングサイトの件数： 15 件**

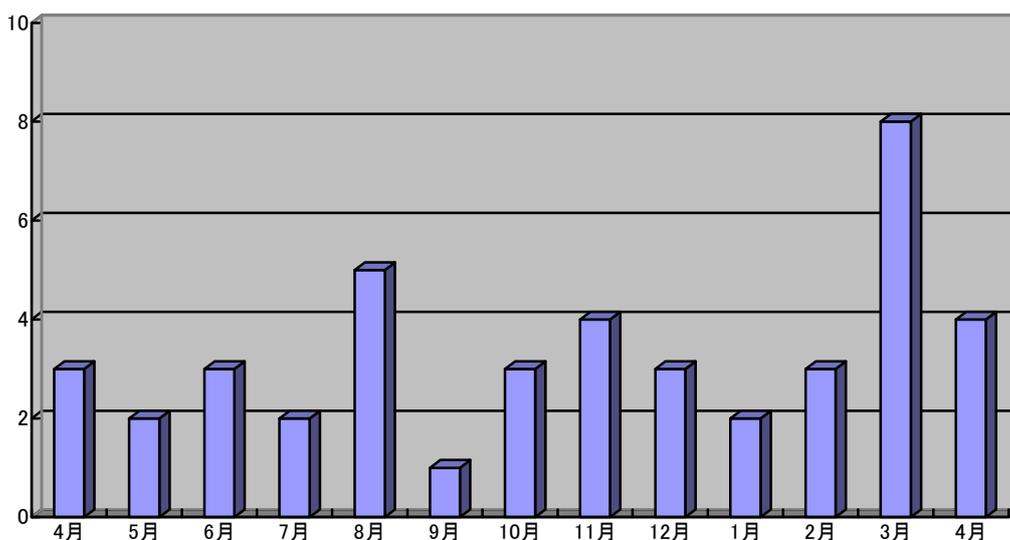
2007 年 4 月度に報告されたフィッシングサイトの数は前月度と同じ 15 件で、過去最高の件数となりました。



フィッシングサイトの件数(2006年4月～2007年4月)

・ **フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 4 件**

2007 年 4 月度にブランド名を悪用された企業の件数は 4 件で、前月度よりも 4 件減少しました。

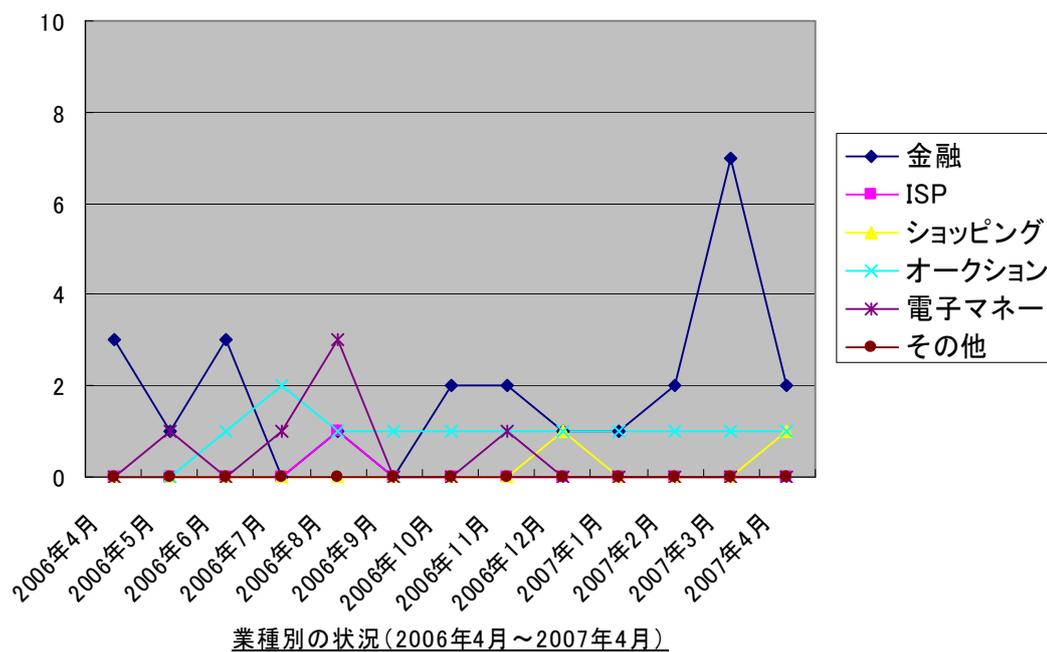


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2006年4月～2007年4月)

- ・ もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： カナダ（4件）

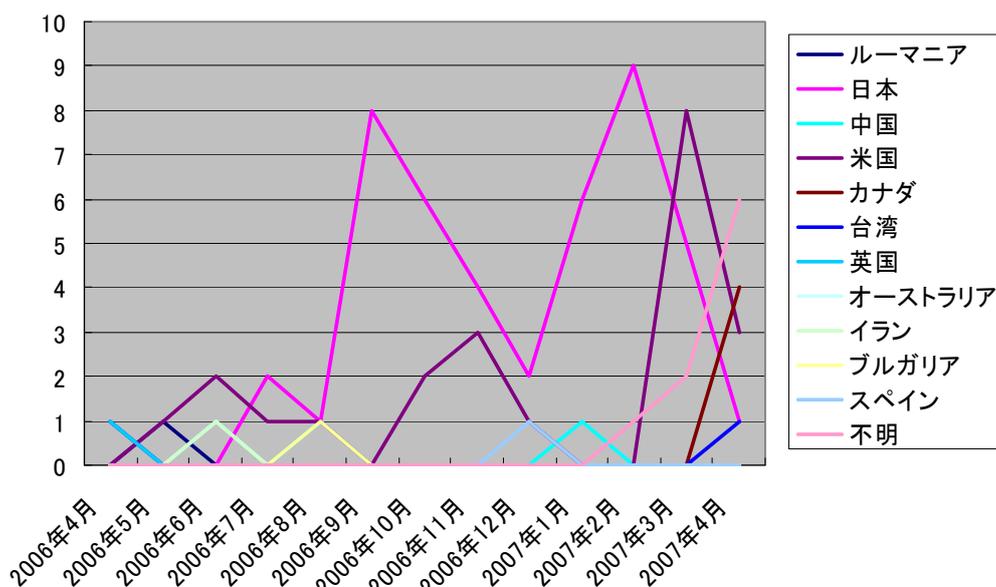
## 1.2. 業種別の状況

2007年4月度に標的となった業種は、金融2件、ショッピングサイト、オークションサイトそれぞれ1件でした。



### 1.3. フィッシングサイトのホスト国

2007年4月度に報告されたフィッシングサイトは、カナダで4件、アメリカで3件、日本、台湾でそれぞれ1件ホスティングされていました。



フィッシングサイトのホスト国(2006年4月～2007年4月)

### 1.4. フィッシングメールの動向

4月度に報告されたフィッシングメールは計19件で、内訳は先月度からの一連のキャッシング融資メールが18件、「Amazon」をかたる英文メールが1件でした。

先月度に引き続き、カードローンやキャッシングサービスを宣伝して詐欺サイトに誘導しようとするメールの報告が多数寄せられました。報告されたメールのパターンは計8種類、使用された組織名は「みずほ銀行」、「アメニティキャッシング」、「TSB」、「マネージャパン」、「さくらベストファイナンス」、「バンクオブジャパン」、「シティ東京」、「日本総合ファイナンス」で、みずほ銀行以外のは今回新たに確認されました。メールの形式はどれも似通っており、次のような特徴があります。

- ・ メール形式がテキスト形式
- ・ 差出人のメールアドレスのドメインが「ocn.ne.jp」、「docomo.ne.jp」、「plala.or.jp」
- ・ 件名の大半が「スピードご融資なら〇〇〇〇」、「キャッシング（・おまとめローン）なら〇〇〇（にお任せ）」など
- ・ 詐欺サイトへ誘導するためのリンクが中央揃えで3～5個貼られている。

- ・ 本文中に書かれている配信元の業者名が「東京ジェイド」、「DIMPLE LIFE」、「NEWS Enter」、「メール Dash クリエイト」

「Amazon」をかたるメールは HTML 形式で、「本人確認を行わないとアカウントを削除」するとして偽サイトに誘導しようとするものでした。

「Yahoo! Japan」をかたるメールは、先月度まで 9 ヶ月続けて報告がありましたが今月度は報告されませんでした。

## 1.5. フィッシングサイトの動向

4 月度に報告されたフィッシングサイトは計 15 件で、内訳は先月度から報告されている一連のキャッシング融資サイトが 13 件、「Yahoo! Japan」、「Amazon」をかたるサイトがそれぞれ 1 件でした。

今回報告のあったキャッシング融資サイトの種類は 8 あり、そのうちの 2 つは実在する金融機関の名前をかたったもので、残りの 6 つはオリジナルであると見られます。いずれも、住所、氏名、電話番号、生年月日などの個人情報を盗み出すことが目的と思われ、「カードローン申し込み」や「融資限度額の診断」などとして情報の入力を促します。サイトの URL は、先月度は「.com」や「.net」などの gTLD も使用されていましたが、今月度はすべて「.info」ドメインによるものでした。これらのサイトはカナダもしくは米国いずれかのサーバでホスティングされていました。また、サイトによってはフィッシングの注意喚起を掲載するなどの工夫も見られました。

「Yahoo! Japan」をかたるサイトはこれまで報告されているものと同じく Yahoo! JAPAN ID、パスワードやクレジットカード番号を盗み取るもので、国内のレンタルサーバ上に設置されていました。

## 1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

## 1.7. その他の動向

特にありません。

## 1.8. 総括

4 月度のフィッシング情報届出数は、先月度よりも 1 件多い計 20 件の報告があり、過去 2 番目に多い数となりました。先月度に続き、キャッシング融資サイトに誘導しようとするものに関する報告が多く寄せられ、件数は 7 件増え合計 18 件となりました。先月度は実在する組織の名前をかたったものが大半でしたが、今月度は独自の名前のもので多くなりました。これらのもものがフィッシングにあたるのかどうか意見が分かれるかもしれませんが、いずれにせよ個人情報情報の詐取を目的としており非常に危険です。今後もさまざまな業者名のサイトとメールが登場する可能性があります。決して情報を入力しないよう、十分注意してください。